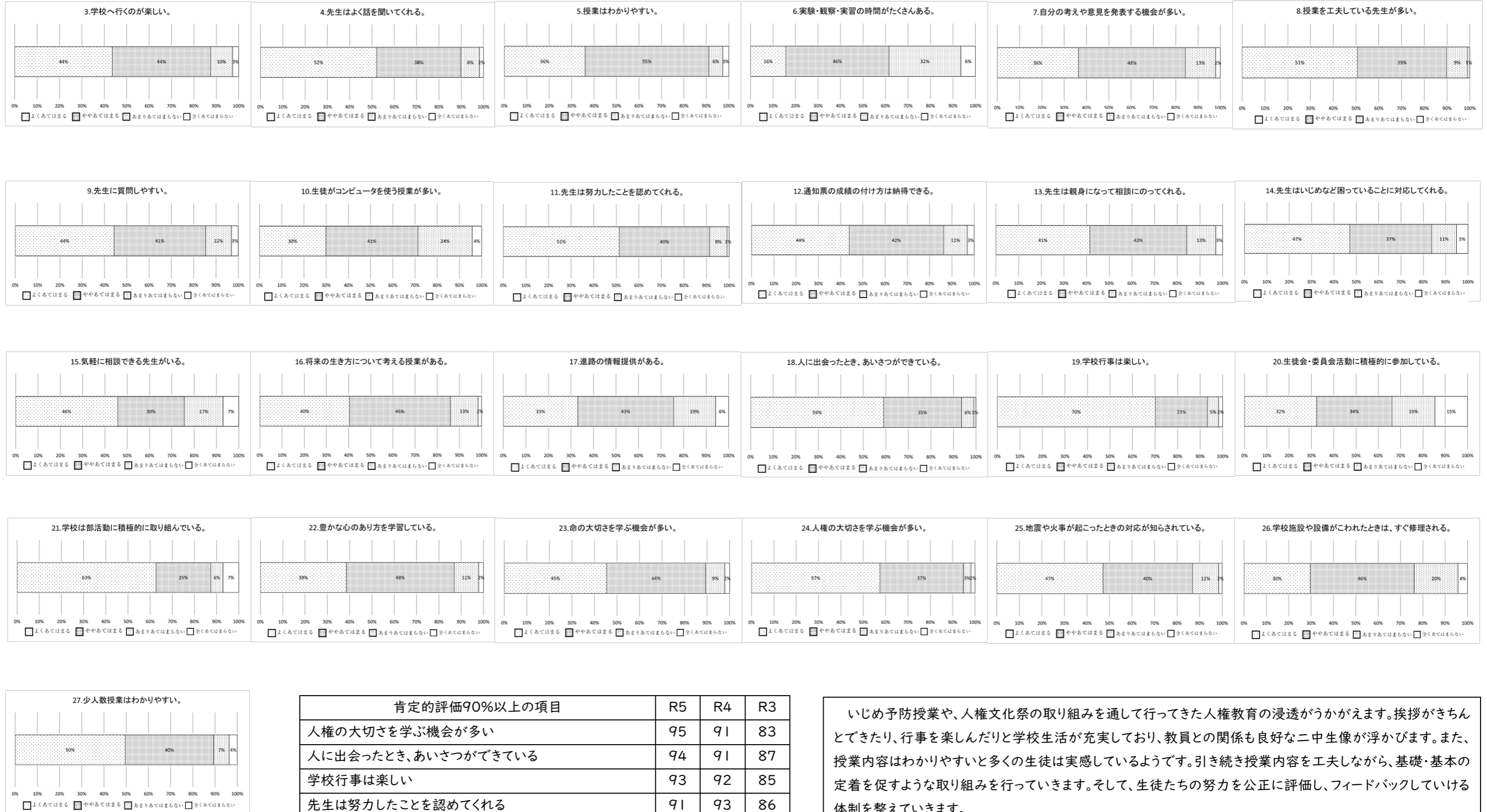


## 令和5年度 学校教育自己診断(生徒)結果 (回答率82%)



肯定的評価90%以上の項目	R5	R4	R3
人権の大切さを学ぶ機会が多い	95	91	83
人に出会ったとき、あいさつができています	94	91	87
学校行事は楽しい	93	92	85
先生は努力したことを認めてくれる	91	93	86
授業はわかりやすい	91	84	79

肯定的評価70%未満の項目	R5	R4	R3
実験・観察・実習の時間がたくさんある	61	57	44
生徒会・委員会活動に積極的に参加している	66	62	56

いじめ予防授業や、人権文化祭の取り組みを通して行ってきた人権教育の浸透がうかがえます。挨拶がきちんとできたり、行事を楽しんだりと学校生活が充実しており、教員との関係も良好な中学生像が浮かびます。また、授業内容はわかりやすいと多くの生徒は実感しているようです。引き続き授業内容を工夫しながら、基礎・基本の定着を促すような取り組みを行っていきます。そして、生徒たちの努力を公正に評価し、フィードバックしていける体制を整えていきます。

実験・観察・実習の項目は年々改善しているところですが、授業形態の工夫に継続して取り組んでいきます。生徒会や委員会の活動を生徒の意見が反映させやすいような形に見直ししながら、生徒全体が参加できる活動を考えていきます。